

記念すべき令和元年に誕生した女兒の心に残る雛人形
お祝いムードを盛り上げる 天皇陛下ご着用の装束セット
— 購入客の注目を集める 黄櫨染御袍（こうろぜんごほう） —

新しい年、令和 2 年が明けるとともに、ことし初節句を迎える女兒の健やかな成長と幸せを願う日本の伝統文化“桃の節句”を彩る「雛人形」の販売が本格的に始まりました。創業 309 年、人形の総合企業・吉徳 <https://www.yoshitoku.co.jp/>（111-8515 東京都台東区浅草橋 1-9-14、資本金 1 億円、社長：12 世山田徳兵衛）では浅草橋本店をはじめ全国の直営 14 店舗および各地の特約店にてこの商戦に臨んでいます。

商戦は男雛・女雛一对の親王飾りが中心で展開されますが、元号が改まり、新天皇のご即位を経たことしの雛商戦には例年にない特徴があります。雛人形選びに来店されるお客様の多くが皇室のご慶事の際にたびたび目に耳にされた「黄櫨染御袍」（こうろぜんごほう）の衣裳についての関心の高さです。

「黄櫨染御袍」は平安朝時代から宮中の重要な儀式の際、天皇陛下のみが着用されるご装束を示しますが、昨年 10 月 22 日の「即位礼正殿の儀」に陛下がお召しになったことから人々の記憶に残るご衣裳となりました。記念すべき年に誕生した子どもにはそれを長く語り継いでほしいという熱い思いがそれを後押ししているようです。

吉徳ではことしの雛人形商戦を迎えるにあたり、親王飾り、三段飾り、また段飾りなどそれぞれの雛人形セットに令和初の商戦にふさわしい「黄櫨染御袍」を着用した男雛モデルを数多く品揃えしています。

さらに、吉徳浅草橋本店では新元号「令和」の記念と即位礼正殿の儀が執り行われた年に誕生したお子様のお祝いとして新たに「即位礼正殿の儀写し」親王飾りセットを今月 20 日過ぎに発売を予定しています。

このセットは、文字通り両陛下が儀式の際にお召しになったご衣裳を模すことを主眼に企画製作され、男雛は正絹黄櫨染、桐竹鳳凰麒麟文の衣裳、そして女雛は正絹向い鶴、ハマナス御印文の十二単の衣裳を着せ付けています。女雛の髪結いも儀式の際の写しとしています。サイズは間口 80 cm×奥行 40 cm×高さ 38 cm。価格は¥253,000（税込）です。

なお、今商戦の売れ筋商品は 20 万円前後の親王飾りセット、商戦のピークは 1 月第 4 週末から月末にかけてと見えています。